

Enterprise Minerソフトウェア バージョン2.02 インストールガイド

UNIX(AIX,HP-UX,SunOS),Windows版

序文

本書は、UNIX(AIX,HP-UX,SunOS)およびWindows環境におけるEnterprise Minerソフトウェアバージョン2.02の導入方法について述べたものです。お使いのマシンにEnterprise Minerソフトウェアバージョン2.02を導入する場合には、必ず本書をお読みください。

1999年2月

株式会社SASインスティテュートジャパン

本書で解説するソフトウェアはライセンス契約のもとに提供されるものであり、同ソフトウェアはこの契約の条項にしたがってのみ、使用あるいは複写が許可されています。このため、御契約頂いたSASソフトウェアプロダクトを、契約書に記載されている以外のCPU上で使用された場合にトラブルが発生しても、当社は同ソフトウェアプロダクトに関する契約上の保障およびサポートを一切行ないません。

本書で使用されているシステム名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。また、本書の内容は予告なく変更されることがあります。

目次

第1章 インストールを始める前に	1
1.1 必要条件の確認	1
1.2 本書で使用する用語	1
1.3 サーバーとクライアント	1
1.4 インストール時にエラーが発生した場合	1
1.5 オンラインヘルプとマニュアル	2
第2章 サーバーUNIXプラットフォームのインストールと環境設定	3
2.1 UNIX版SASシステムのインストール	3
2.2 Enterprise Minerサーバーソフトウェアのインストール	3
2.3 Enterprise Minerサーバーソフトウェアの環境設定	6
第3章 サーバーPCプラットフォームのインストールと環境設定	7
3.1 Windows版SASシステムのインストール	7
3.2 Enterprise Minerサーバーソフトウェアのインストール	8
3.3 Enterprise Minerサーバーソフトウェアの起動	8
3.4 Enterprise Minerサーバーソフトウェアの環境設定	9
3.5 Enterprise Minerソフトウェアのアンインストール	10
第4章 クライアントPCプラットフォームのインストールと環境設定	11
4.1 Windows版SASシステムのインストール	11
4.2 Enterprise Minerクライアントソフトウェアのインストール	12
4.3 Enterprise Minerクライアントソフトウェアの起動	12
4.4 リモートプロジェクトのための環境設定	12
4.5 DMSフォントの設定	14
4.6 グラフィックフォントの設定	14
4.7 Enterprise Minerソフトウェアのアンインストール	14
第5章 テクニカルサポート	15
付録A インストールするプロダクト	17
付録B クライアントPCプラットフォームのEnterprise Minerソフトウェアのインストール	19
B.1 セットアッププログラムの起動	19
B.2 Enterprise Minerソフトウェアのインストール	20
付録C クライアントPCプラットフォームのライセンス情報の更新	25
C.1 ライセンス情報について	25

C.2 ライセンス情報ファイル(SETINIT.SAS)の編集	25
C.3 ライセンス情報の適用	26

第1章 インストールを始める前に

1.1 必要条件の確認

ハードウェア/ソフトウェアの条件は満たされていますか？

インストールパッケージに含まれている資料「Enterprise Minerソフトウェア バージョン 2.02システム動作環境」資料を参照のうえ、Enterprise Minerソフトウェアが必要とする、ハードウェアおよびソフトウェアの条件について確認してください。

1.2 本書で使用する用語

本書で使用する用語について説明します。

用語	説明
サーバーUNIXプラットフォーム	OSがAIX,HP-UX,SunOSのサーバープラットフォーム
サーバーPCプラットフォーム	OSがWindows NTのサーバープラットフォーム
クライアントPCプラットフォーム	OSがWindows NT,95のクライアントプラットフォーム

1.3 サーバーとクライアント

Enterprise Minerソフトウェアは、サーバーソフトウェアとクライアントソフトウェアから成ります。

サーバーはUNIX(AIX,HP-UX,SunOS)版とWindows版の2種類があります。

ご契約のプロダクトにより、次の章を参照して、インストール作業を行ってください。

□UNIXサーバー

「第2章 サーバーUNIXプラットフォームのインストールと環境設定」

「第4章 クライアントPCプラットフォームのインストールと環境設定」

□Windows NTサーバー

「第3章 サーバーPCプラットフォームのインストールと環境設定」

「第4章 クライアントPCプラットフォームのインストールと環境設定」

1.4 インストール時にエラーが発生した場合

インストール時にエラーが発生した場合には、インストールパッケージに含まれている「SAS Q&Aシート」にエラーメッセージの内容などの詳細を記したうえで、FAXもしくは電子メールにてテクニカルサポートにお問い合わせください。その際は、「第5章 テクニカルサポート」(15ページ)をご覧ください。

1.5 オンラインヘルプとマニュアル

Enterprise Minerソフトウェアの使用方法については、次のマニュアルおよびオンラインヘルプを参照してください。

□ マニュアル

「Getting Started with the Enterprise Miner Software」

□ オンラインヘルプ

[ヘルプ] [エンタープライズマイナーヘルプ]

[ヘルプ] [エンタープライズマイナーを使ってみよう!]

第2章 サーバーUNIXプラットフォームのインストールと環境設定

2.1 UNIX版SASシステムのインストール

1. UNIX(AIX,HP-UX,SonOS)版SASシステム リリース6.12 TS050のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
2. 「UNIX版SASシステム リリース6.12 TS050 インストレーションガイド」を参照して、UNIX版SASシステムをインストールします。

注意！ Enterprise Minerソフトウェアのライセンスと別にSAS/ETSソフトウェアのライセンスがないと、インストール時に次のエラーメッセージが表示されますが、問題ありませんので無視して作業を進めてください。

Error: Encountered errors while executing '/sas612/sastest/testets.sas'. Compare the blg and log file for this test to determine the cause. Save these files if you need to contact SAS Institute Technical Support for assistance.

3. umount コマンドを実行して、SASシステムのインストールメディアをアンマウントします。

例) umount /cdrom

注意！ SunOSではejectコマンドになります。

2.2 Enterprise Minerサーバーソフトウェアのインストール

1. "Server"というラベルが貼られた「Enterprise Minerソフトウェア バージョン2.02」のメディアをCD-ROMドライブにセットします。

2. CD-ROMをマウントします。

AIX mount -r -v cdrfs /dev/cd0 /cdrom

HP-UX mount -r /dev/dsk/0d0 /cdrom

Solaris 2 mount -r -F hsfs /dev/sr0 /cdrom

CD-ROMドライブのデバイス名は、システムのマニュアルを参照してください。

CD-ROM装置をマウントするには、root権限が必要です。ただし、インストールを行う際は、root権限は必要ではありませんので、マウント後にroot以外のuser-idで再ログインして作業することもできます。

3. CD-ROMから「Enterprise Minerソフトウェア」のファイルを!SASROOT/addonディレクトリにコピーします。

```
cd /usr/local/sas612
mkdir addon
cd addon
tar xvf /cdrom/*
```

次の6つのディレクトリが作成されます。

```
!SASROOT/addon/dmine/sasmsg
!SASROOT/addon/dmine/sasautos
!SASROOT/addon/dmine/samples/dmine
!SASROOT/addon/dmine/sasexe/dmine
!SASROOT/addon/dmine/sashelp
!SASROOT/addon/dmine/sastest
```

4. "Client"のラベルが貼られたCD-ROMをマウントして、プラットフォームのサブディレクトリから、ファイルをコピーします。

オペレーティングシステムがAIXの場合

```
cd /usr/local/sas612/addon
tar xvf /cdrom/AIX/*
```

5. config.sas612ファイルをconfig.dmineという名前で !SASROOT/addon/dmine ディレクトリにコピーします。config.sas612ファイルは、通常、SASROOTディレクトリにあります。

```
例) cd /usr/local/sas612
     cd addon/dmine
     cp /usr/local/sas612/config.sas612 config.dmine
```

注意！ Solarisの環境でSASシステムのデュアルインストールを行っている場合は、

config.sas612.sol2ファイルをconfig.dmineという名前でコピーしてください。

例) cp /usr/local/sas612/config.sas612.sol2 config.dmine

6. config.dmineファイルを編集します。

sashelpオプションに、Enterprise Minerソフトウェアのカタログのパスを追加します。

```
-sashelp (!SASROOT/addon/dmine/sashelp !SASROOT/japanese/sashelp  
!SASROOT/dbcs/sashelp !SASROOT/sashelp)
```

sasautosオプションにEnterprise Minerソフトウェアの自動実行マクロのパスを追加します。

```
-sasautos(!SASROOT/addon/dmine/sasautos !SASROOT/japanese/sashelp  
!SASROOT/dbcs/sashelp !SASROOT/sasautos)
```

7. 続いて、pathオプションの中の !SASROOT/dbcs/sasexe ディレクトリの後に !SASROOT/addon/dmine/sasexe/dmine を追加します。

```
-path !SASROOT/dbcs/sasexe  
-path !SASROOT/addon/dmine/sasexe/dmine
```

8. msgオプションに !SASROOT/addon/dmine/sasmsg を追加します。

```
-msg !SASROOT/addon/dmine/sasmsg  
-msg !SASROOT/japanese/sasmsg  
-msg !SASROOT/sasmsg
```

9. config.dmineファイルを保存します。

10. SASROOTにあるautoexec.sasファイルを編集します。

次のステートメントを追加します。

```
libname sampio '!SASROOT/addon/dmine/samples/dmine';
```

2.3 Enterprise Minerサーバーソフトウェアの環境設定

1. 標準のデータライブラリの設定

クライアントユーザが、参照・更新可能なディレクトリを用意する必要があります。
このディレクトリは、Enterprise Minerソフトウェアをインストールしたディレクトリ
とは別の場所に設定してください。

例) /bigdisk/emineprj

2. クライアントのために必要な情報

クライアントユーザのために次の情報を提供する必要があります。

- ・サーバーマシンのマシン名、IPアドレス

- ・addon/dmine ディレクトリがあるパス

たとえば、Enterprise Minerサーバーソフトウェアが/usr/local/sas612/addon/dmine
にインストールされている場合は /usr/local/sas612/addon/dmine

- ・標準のデータライブラリのパス

たとえば、emservという名前のマシンの /bigdisk/emineprj がデータライブラリ
の場合は、/bigdisk/emineprj が必要な情報になります。

/net/emserv/emineprj のようなNFSマウントのパスは使用できません。

第3章 サーバーPCプラットフォームのインストールと環境設定

3.1 Windows版SASシステムのインストール

Enterprise Minerソフトウェアをインストールするマシンに次のリリースTSレベルのSASシステムがインストールされていなければなりません。

Windows版SASシステム リリース6.12 TS045

次に該当する場合は、「Windows版SASシステム リリース6.12 TS045 DBCS2818インストールレーションガイド」を参照のうえ、SASシステムのインストールを行ってください。

□SASシステムがインストールされていない場合および

リリース6.11以前のリリースがインストールされている場合

「Windows版SASシステム リリース6.12 TS045」の**新規インストール**を行ってください。

□「Windows版SASシステム リリース6.12 TS020」がインストールされている場合

「Windows版SASシステム リリース6.12 TS045」の**メンテナンスインストール**を行ってTS045にアップグレードしてください。

ただし、「付録A インストールするプロダクト」に記述されているプロダクトのうちインストールされていないものがある場合は、TS020をアンインストール後にTS045をインストールすることをおすすめします。

インストールタイプは、「カスタム」を選択してください。

インストールで選択するプロダクトは「付録A インストールするプロダクト」(17ページ)を参照してください。

SASシステムをインストールする際の注意点

SASシステムをインストールする際、次の点に注意してください。

□SAS/CONNECTソフトウェア スポーナプログラムのインストール

SASシステムのインストールで、SASスポーナプログラムをサービスに登録するかどうかを選択するウィンドウが表示されたら、ここでは、登録を**選択しない**でください。

□SASシステムビューワ、SAS ODBCドライバのインストール

SASシステムビューワ、SAS ODBCドライバをインストールするかどうかの選択では、これらはEnterprise Minerソフトウェアの実行には関係しませんので希望に応じて選択してください。

3.2 Enterprise Minerサーバーソフトウェアのインストール

1. Enterprise Miner 2.0がインストールされている場合は、Enterprise Miner 2.0をアンインストールしてください。Enterprise Miner 2.0でSAS/CONNECTソフトウェアのスク립トファイルをカスタマイズしていた場合は、スク립トファイルを待避してからアンインストールしてください。Enterprise Minerソフトウェア 2.0をアンインストールするには、Windowsメニューの「Enterprise Miner」から、「Enterprise Miner 2.0の削除」を選択します。
2. 「付録B クライアントPCプラットフォームのEnterprise Minerソフトウェアのインストール」(19ページ)を参照して、インストールを行ってください。
3. 「付録C クライアントPCプラットフォームのライセンス情報の更新」(25ページ)を参照のうえ、Enterprise Minerソフトウェアのライセンスを含むライセンス情報の適用を行ってください。

3.3 Enterprise Minerサーバーソフトウェアの起動

SASスポーナプログラムのインストール

Enterprise Minerソフトウェアのサーバープラットフォームには、SASスポーナプログラムをインストールする必要があります。SASスポーナプログラムはクライアントプラットフォームでリモートプロジェクトを定義し、実行するときに使用されます。

SASスポーナプログラムは、`!SASROOT\CONNECT\SASEXE`ディレクトリにあります。次の手順で起動（および停止）してください。

(`!SASROOT`はSASシステムがインストールされているディレクトリに置き換えてください)。

ここでは、SASシステムがインストールされているディレクトリをC:\SASと仮定します。

MS-DOSコマンドプロンプトから次のコマンドを実行して、ヘルプを参照できます。

```
C:\SAS> CONNECT\SASEXE\SPAWNER -h
```

次の手順でスポーナプログラムのインストール/再インストールを行ってください。

・スポーナプログラムのサービスが開始されているかを確認する

("SAS job spawner"と表示されれば、サービスが開始されています。)

```
net start | find "SAS job spawner" /i
```

・スポーナプログラムのサービスが開始されている場合に、サービスを停止する

```
net stop "SAS job spawner"
```

・スポーナプログラムを削除する

```
CD SAS (CDコマンドでSASROOTディレクトリに移動)
```

```
C:¥SAS>CONNECT¥SASEXE¥SPAWNER -d
```

・スポーナプログラムをインストールする

```
CD SAS (CDコマンドでSASROOTディレクトリに移動)
```

```
C:¥SAS>CONNECT¥SASEXE¥SPAWNER -i -c tcp
```

・スポーナプログラムのサービスを開始する

```
net start "SAS job spawner"
```

3.4 Enterprise Minerサーバーソフトウェアの環境設定

1. 標準データライブラリの設定

クライアントからアクセスするためのディレクトリを作成します。

このディレクトリは、Enterprise Minerソフトウェアがインストールされているディレクトリとは別にしてください。

例) c:¥emineprj

2. クライアントのために必要な情報

クライアントからアクセスするために次の情報が必要になります。

・マシン名とIPアドレス

・ADDONディレクトリのパス

Enterprise Minerソフトウェアがインストールされているディレクトリが

d:¥sas¥addonの場合はd:¥sas¥addon¥dmine

・デフォルトデータライブラリのパス

サーバーのマシン名がemservでプロジェクトを保存するデフォルトのデータライブラリのディレクトリがc:¥emineprjのときはc:¥emineprjがクライアントに必要な情報です。¥emserv¥emineprjのようなUNC名は使用しないでください。

3.5 Enterprise Minerソフトウェアのアンインストール

Enterprise Minerソフトウェアをアンインストールするには、Windowsメニューの「Enterprise Miner」から、「Enterprise Miner 2.02の削除」を選択します。

第4章 クライアントPCプラットフォームのインストールと環境設定

4.1 Windows版SASシステムのインストール

Enterprise Minerソフトウェアをインストールするマシンに次のリリースTSレベルのSASシステムがインストールされていなければなりません。

Windows版SASシステム リリース6.12 TS045

次に該当する場合は、「Windows版SASシステム リリース6.12 TS045 DBCS2818インストールレーションガイド」を参照のうえ、SASシステムのインストールを行ってください。

□SASシステムがインストールされていない場合および

リリース6.11以前のリリースがインストールされている場合

「Windows版SASシステム リリース6.12 TS045」の**新規インストール**を行ってください。

□「Windows版SASシステム リリース6.12 TS020」がインストールされている場合

「Windows版SASシステム リリース6.12 TS045」の**メンテナンスインストール**を行ってTS045にアップグレードしてください。

ただし、「付録A インストールするプロダクト」に記述されているプロダクトのうちインストールされていないものがある場合は、TS020をアンインストール後にTS045をインストールすることをおすすめします。

インストールタイプは、「カスタム」を選択してください。

インストールで**選択するプロダクト**は「付録A インストールするプロダクト」(17ページ)を参照してください。

SASシステムをインストールする際の注意点

SASシステムをインストールする際、次の点に注意してください。

□SAS/CONNECTソフトウェア スポーナプログラムのインストール

SASシステムのインストールで、SASスポーナプログラムをサービスに登録するかどうかを選択するウィンドウが表示されたら、ここでは、**登録を選択しない**でください。

□SASシステムビューワ、SAS ODBCドライバのインストール

SASシステムビューワ、SAS ODBCドライバをインストールするかどうかの選択では、これらはEnterprise Minerソフトウェアの実行には関係しませんので希望に応じて選択してください。

4.2 Enterprise Minerクライアントソフトウェアのインストール

1. Enterprise Miner 2.0がインストールされている場合は、Enterprise Miner 2.0をアンインストールしてください。Enterprise Miner 2.0でSAS/CONNECTソフトウェアのスク립トファイルをカスタマイズしていた場合は、スク립トファイルを待避してからアンインストールしてください。Enterprise Minerソフトウェア 2.0をアンインストールするには、Windowsメニューの「Enterprise Miner」から、「Enterprise Miner 2.0の削除」を選択します。
2. 「付録B クライアントPCプラットフォームのEnterprise Minerソフトウェアのインストール」(19ページ)を参照して、インストールを行ってください。
3. 「付録C クライアントPCプラットフォームのライセンス情報の更新」(25ページ)を参照のうえ、Enterprise Minerソフトウェアのライセンスを含むライセンス情報の適用を行ってください。

4.3 Enterprise Minerクライアントソフトウェアの起動

Enterprise Minerソフトウェアを起動するには、デスクトップに作成されたアイコンをダブルクリックします。

もしくは、Windowsのスタートメニューから[プログラム] [Enterprise Miner] [Enterprise Miner 2.02]を選択します。

SASセッションにおいて、Enterprise Minerソフトウェアを終了させた後、再起動するには、SASシステムのコマンドウィンドウからminerコマンドを実行します。

4.4 リモートプロジェクトのための環境設定

Enterprise Minerソフトウェアをクライアント/サーバーモードで利用するには、SAS/CONNECTソフトウェアのスク립トファイルを設定する必要があります。

標準のスク립トファイルは!SASROOT¥connect¥saslinkディレクトリにあります。サーバーに接続するための、次のテンプレート・スク립トファイルが用意されています。

- ・ PCサーバー emtcpwin.scr

・UNIXサーバー emtcpunx.scr

使用するスクリプトファイルの、次の個所を編集してください。

□Windows NTサーバーの場合

例) サーバーのEnterprise Minerソフトウェアのaddonディレクトリが
d:¥sas¥addon¥dmineのとき

変更前

```
type 'c:¥sas¥addon¥dmine¥sas.exe ';  
type '-config c:¥sas¥addon¥dmine¥config.sas ';  
type '-autoexec c:¥sas¥addon¥dmine¥autoexec.sas ';
```

変更後

```
type 'd:¥sas¥addon¥dmine¥sas.exe ';  
type '-config d:¥sas¥addon¥dmine¥config.sas ';  
type '-autoexec d:¥sas¥addon¥dmine¥autoexec.sas ';
```

□UNIXサーバーの場合

例) サーバーのEnterprise Minerソフトウェアのaddonディレクトリが
/disk1/sas612/addon/dmineのとき

変更前

```
type '/usr/local/sas612/sas ';  
type '-config /usr/local/sas612/addon/dmine/config.dmine ';  
type '-autoexec /usr/local/sas612/autoexec.sas ';
```

変更後

```
type '/disk1/sas612/sas ';  
type '-config /disk1/sas612/addon/dmine/config.dmine ';  
type '-autoexec /disk1/sas612/autoexec.sas ';
```

環境設定に関する詳細は、オンラインヘルプを参照してください。
メニューから[エンタープライズマイン-を使ってみよう!]を選択します。

リモートプロジェクトおよびクライアント/サーバーモードでの実行に関する詳細は、「Enterprise Miner Administrator」の項をご覧ください。
「サーバー」のプロパティの項目については、次の表を参照してください。

項目	説明
見出し	サーバーに関する注釈（任意）
サーバー	サーバーのマシン名もしくはIPアドレス
アクセス方式	TCP,APPC,DECNET,NETBIOSから選択
ポート	通常は指定しません。 telnetポート(ポート番号 23)の代わりに別のポートを使用する場合に指定します。
スクリプト	スクリプトファイル名

4.5 DMSフォントの設定

フォントの表示に問題がある場合は、メニューから「オプション」「フォントの設定」を選択して、「フォント」ダイアログでフォントの種類やサイズを変更してください。マイクロソフトが提供している日本語をサポートするフォントで、サイズは9くらいが適当です。（たとえば「MS 明朝」のサイズ9）

4.6 グラフィックスフォントの設定

多次元グラフの3Dテキストのフォントには、標準でMINCHOフォントが使われています。これは、GOPTIONSステートメントでFTITLEオプションを指定することにより、変更できません。

例) KANJIフォントに変更する場合

```
goptions ftitle=kanji;
```

4.7 Enterprise Minerソフトウェアのアンインストール

Enterprise Minerソフトウェア 2.02をアンインストールするには、Windowsのスタートメニューの"Enterprise Miner"から「Enterprise Miner 2.02の削除」を選択します。

第5章 テクニカルサポート

SASインスティテュートジャパンでは、SASコンサルタントからの技術的な質問についてFAX、**電子メール**でのテクニカルサポートを提供しています。

その他、World Wide WebによるFAQ(Frequently Asked Questions)などの技術情報や修正モジュールの提供も行っています。

SASシステムに関するサポートは、SASインスティテュートジャパンと各サイトのSASコンサルタントが共同で行います。SASインスティテュートジャパンはソフトウェアのメンテナンスを担当し、各サイトのSASコンサルタントは直接ユーザサポートを提供します。**SASコンサルタントが解決できないような問題に関しては、SASコンサルタント自身がSASインスティテュートジャパンのテクニカルサポートと連絡をとります。**できるかぎり効率のよいサービスを行うために、SASコンサルタント以外のユーザからテクニカルサポートへ直接連絡することはご遠慮ください。

テクニカルサポートでは、SASシステムでのユーザエラー、システムの互換性上の問題、SASステートメントの構文に関する質問、プロシジャとその出力などに関して、サポートを提供します。ただし、**特定目的用アプリケーション、ユーザプログラムの作成、新規ユーザの教育、統計手法一般についての質問に関してはテクニカルサポートの範囲外となります。**これらのご相談につきましては弊社コンサルティングサービス(有料)までご連絡ください(TEL: 03-3533-3890)。

テクニカルサポート連絡先

FAX: 03-3533-3781 TEL: 03-3533-3877

電子メール: support@jpn.sas.com

(電子メールでご質問をいただく場合、決まった書式があります。最初にSubjectをhelpとして、お送りください。)

World Wide Web

<http://www.sas.com/japan>

付録A インストールするプロダクト

Enterprise Minerソフトウェアの全ての機能を利用するには、「カスタム」インストールで次のプロダクトを選択してください。

□サーバーUNIXプラットフォーム

- Base SASソフトウェア
- SAS/CONNECTソフトウェア
- SAS/STATソフトウェア
- SAS/ETSソフトウェア

□サーバーPCプラットフォーム

- Base SASソフトウェア
- SAS/CONNECTソフトウェア
- SAS/ETSソフトウェア
- SAS/STATソフトウェア

□クライアントPCプラットフォーム

- Base SASソフトウェア
- SAS/STATソフトウェア
- SAS/CONNECTソフトウェア
- SAS/GRAPHソフトウェア
- SAS/INSIGHTソフトウェア
- SAS/EISソフトウェア
- SAS/FSPソフトウェア
- SAS/ETSソフトウェア
- SAS/MDDB Serverソフトウェア

付録B クライアントPCプラットフォームのEnterprise Minerソフトウェアのインストール

本章では、Enterprise Minerソフトウェアのインストール作業について説明します。
Enterprise Minerソフトウェアのインストール手順は、サーバーとクライアントで共通
です。

B.1 セットアッププログラムの起動

セットアップの前に必ず次の事項を確認してください。

1. 他のアプリケーションを起動している場合には、そのアプリケーションを終了させてください。
2. スクリーンセーバの設定を有効にしている場合には、設定を解除してください。

次の手順にしたがって、SASシステムのセットアッププログラムを起動してください。

1. オペレーティングシステム(Windows NT V4,Windows 95)を起動します。
2. 「Enterprise Minerソフトウェア バージョン2.02」のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
3. Windows95もしくはWindows NTのスタートメニューから **ファイル名を指定して実行** を選択します。

4. コマンドラインに次のように入力します。

<CD-ROMドライブ>:¥SETUP

<CD-ROMドライブ>は、CD-ROMがセットされているドライブに置き換えてください。

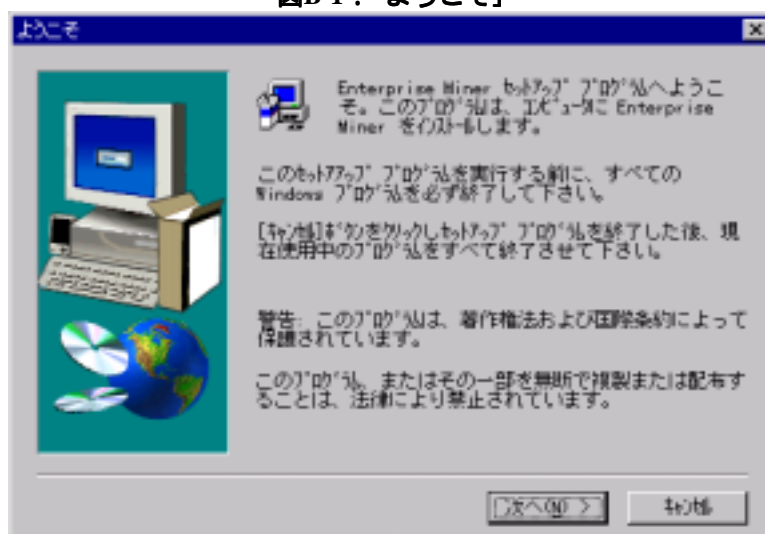
例) CD-ROMドライブがDの場合

D:¥SETUP

5. **OK** をクリックします。

6. 次のウィンドウが表示されます。 をクリックして先に進めます。

図B-1：「ようこそ」



B.2 Enterprise Minerソフトウェアのインストール

1. 「製品ライセンス契約」ウィンドウが表示されます。
同意される場合は、 をクリックしてください。
2. 「情報一覧」ウィンドウが表示されます。
内容をご確認のうえ、 をクリックしてください。
3. 次のウィンドウが表示されます。
CONFIG.SASファイルが存在するディレクトリ（通常はSASシステムがインストールされているディレクトリ）を指定して、 をクリックしてください。

図B-2：インストール先の選択



- 次のウィンドウが表示されます。
COREがインストールされているディレクトリ（通常はSASシステムがインストールされているディレクトリです）を指定して、**次へ(N) >** をクリックしてください。

図B-3：COREがインストールされているディレクトリの確認



- 次に「情報一覧」ウィンドウが表示されます。
内容を確認のうえ、**次へ(N) >** をクリックしてください。
- 次のウィンドウが表示されます。
通常は、ディレクトリを変更しないで、**次へ(N) >** をクリックしてください。

図B-4：インストール先の選択



7. 次のウィンドウが表示されます。

いずれかの方法を選択して、 をクリックしてください。

(各タイプの説明は、「セットアップ方法」(23ページ)の表を参照してください。)

「標準」インストールをおすすめします。

図B-5：セットアップ方法の選択



セットアップ方法

セットアップ方法	説明
標準(T)	サンプルデータセットを含みます。 通常は、この方法をおすすめします。
コンパクト(C)	サンプルデータセットを含みません。 ディスク容量を節約する場合に選択してください。
カスタム(U)	インストールするコンポーネントを選択できます。 (必須コンポーネント、サンプルデータセット、SAS/CONNECTソフトウェアのスクリプトファイル)

8. 次のウィンドウが表示されます。

プログラムフォルダの省略値は"Enterprise Miner"です。

プログラムフォルダを選択して、 をクリックしてください。

図B-6：プログラムフォルダの選択



9. 次のウィンドウが表示されます。

内容を確認のうえ、 をクリックしてください。

図B-7：ファイルコピーの開始



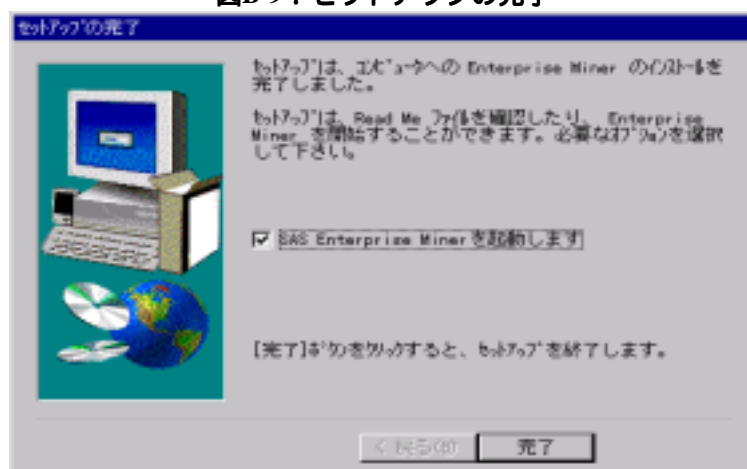
10. ファイルのインストールが始まります。
インストールステータスバーで現在の状況を確認できます。

図B-8：インストールステータスバー



11. ファイルのコピーが終了すると、次のウィンドウが表示されます。
完了 をクリックしてセットアッププログラムを終了してください。

図B-9：セットアップの完了



以上で、Enterprise Minerソフトウェアのインストールは終了です。

付録C クライアントPCプラットフォームのライセンス情報の更新

C.1 ライセンス情報について

SASシステムを使用するには、使用開始時または契約更新時に、セットユニット情報と呼ばれるライセンス情報を更新する必要があります。

この情報には、SASシステムのリリース番号、ユーザ名、契約期間、パスワードなど各種ライセンス情報が含まれており、これらが正しく設定されていなければSASシステムをご使用できないようになっています。

ライセンス情報の適用は次の3つのステップからなります。

1. ライセンス情報ファイル(SETINIT.SAS)の編集

お客様独自のライセンス情報を記述したテキストファイルを作成します。

2. ライセンス情報の適用

ライセンス情報を適用します。

3. ログの確認

ライセンス情報が更新されたか、ログを確認します。

C.2 ライセンス情報ファイル(SETINIT.SAS)の編集

ライセンス情報を記述したSETINIT.SASファイルを編集します。

通常、<SASROOT>\CORE\SASINSTディレクトリに、以前作成したSETINIT.SASファイルまたはトライアル用のSETINIT.SASファイルが存在します。そのファイルを任意のエディタに読み込んで編集してください。

なお、SETINIT.SASファイルが存在しない場合はエディタで新たに作成してください。SASシステムが起動できる状態であればSASシステムのPROGRAM EDITORを使用できます。編集が終了したら任意のディレクトリにSETINIT.SASという名前で保存するか、上書き保存してください。

SETINIT.SASファイルのサンプル

```
PROC SETINIT RELEASE='6.xx';  
SITEINFO NAME='SAS JAPAN'  
SITE=01234567 OSNAME='WIN' RECREATE BIRTHDAY='23NOV95'd  
EXPIRE='31JUL98'D PASSWORD=012345678;  
CPU MODEL=' ' MODNUM=' ' SERIAL=' '  
EXPIRE 'BASE' 'GRAPH' 'ETS' 'FSP' 'AF' 'OR' 'IML'  
'ASSIST' '31JUL98';  
SAVE; RUN;
```



ライセンス情報はご契約いただいたサイトによって異なります。SETINIT.SASファイルの内容はお送りしたライセンス情報の通りに作成してください。アルファベットは半角文字で入力し、制御コードが混在しないようにしてファイルに保存してください。

また、Windows NTのメモ帳を使用する場合には、**Unicodeで保存しないでください。**

なお、引用符で囲まれた文字はスペースの数などもチェックの対象になりますのでご注意ください。

C.3 ライセンス情報の適用

ライセンス情報を適用するには次の3通りの方法があります。

次のいずれかの方法によりライセンス情報を適用してください。

ただし、(1)の方法は、以前ライセンス情報を更新していて、使用期限になっていない（SASシステムを起動できる）場合のみ利用できます。

- | | |
|------------------------------|------------|
| (1) Program Editorウィンドウを利用する | (C.3.1節参照) |
| (2) [ライセンス情報更新]プログラムを利用する | (C.3.2節参照) |
| (3) コマンドを入力する | (C.3.3節参照) |

C.3.1 ライセンス情報の適用(Program Editorウィンドウを利用する方法)

本節では、SASシステムのProgram Editorウィンドウを利用してライセンス情報を適用する手順を説明します。既にSASシステムの使用期限が切れていて、SASシステムを起動できない場合は、この方法はご利用になれません。他の方法をご利用ください。

1. SASシステムを起動して、[Program Editor]にお客さまが編集したSETINIT.SASファイルを読み込みます。

2. メニューから[ローカル(L)] [サブミット(S)] を選び、プログラムをサブミットします。

3. LOGウィンドウの確認

ライセンス情報を適用した実行結果がLOGウィンドウに出力されます。**ERROR:で始まるメッセージがなく**、ファイルの最終行付近に次のメッセージがあればライセンス情報の更新は完了です。

NOTE: サイト情報データを更新しました.

NOTE: 2次セットユニット (SECONDARY SETINIT) データを更新しました.

更新に失敗している原因のほとんどはSETINIT.SASファイル中のタイプミスです。今一度、お客様のライセンス情報を参照してSETINIT.SASファイルの内容をご確認ください。

タイプミスの例

- (1) 「NAME=」の項目で(,),(-),スペースが足りない。
- (2) 引用符がぬけている。
- (3) 文末のセミコロンがぬけている。

なお、SETINIT.LOGファイル中に「**ERROR: パスワード xxxxxxxxx に無効な情報があります.**」と表示されている場合であっても、PASSWORD=以外の個所のタイプミスがエラーの原因であることがあります。この場合には、SETINIT.SASファイルのいずれかの個所にタイプミスが存在しますので、再度、SETINIT.SASファイルの内容をご確認ください。

エラー個所が不明な場合はSASシステムをインストールしたディレクトリに作られるSETINIT.LOGファイルを添えてFAXまたは電子メールにてテクニカルサポートにお問い合わせください。

C.3.2 ライセンス情報の適用(「ライセンス情報更新」プログラムを利用する)

本節では、「ライセンス情報更新」プログラムを利用してライセンス情報を適用する方法について説明します。

1. 「ライセンス情報更新」プログラムの起動

- ・タスクバーから **スタート** **プログラム(P)** **The SAS System**
ライセンス情報更新 を選択します。

図C-1: ライセンス情報更新プログラムの起動



2. SASROOTの確認と指定

次のウィンドウが表示されます。SASがインストールされているディレクトリが指定されていることを確認して、 をクリックしてください。

図C-2: SASROOTの確認と指定



3. SASFOLDERの確認

SASFOLDERに指定されているディレクトリが表示されます。

をクリックしてください。

図C-3: SASFOLDERの確認



4 「更新済みのセットユニットがどこかにありますか」

次のウィンドウが表示されますので、 をクリックしてください。

図C-4: 「更新済みのセットユニットがどこかにありますか」



5. SETINIT.SASファイルが存在するディレクトリ

次のウィンドウが表示されますので、お客様が作成したSETINIT.SASファイルが存在するディレクトリを入力し、 をクリックしてください。

図C-5: SETINIT.SASファイルが存在するディレクトリ



例) SETINIT.SASファイルをC:¥SAS612¥CORE¥SASINSTディレクトリに保存した場合には、次のように入力します。

C:¥SAS612¥CORE¥SASINST

6. ライセンス情報の適用

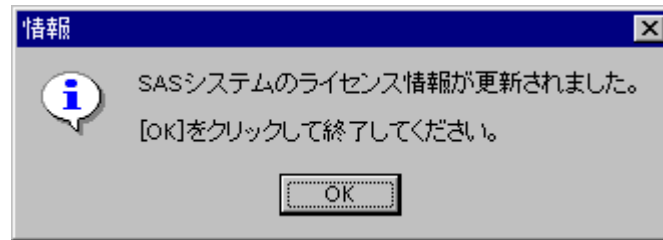
ライセンス情報が正しく適用された場合には、次のウィンドウが表示されます。

をクリックするとSASライセンス情報更新プログラムは終了します。

このメッセージが表示されない場合は、[7. 「エラーが発生しました。」 (31ページ)]

以降に進んでください。

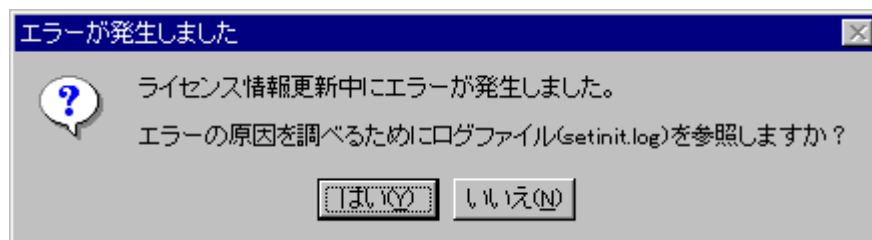
図C-6: 「ライセンス情報が更新されました。」



7. 「エラーが発生しました。」

次のメッセージウィンドウが表示された場合にはライセンス情報の更新に失敗しています。 をクリックしてください。

図C-7: 「エラーが発生しました。」



8. ログファイル(SETINIT.LOG)の参照

図C-8のような [メモ帳] のウィンドウでログファイル(SETINIT.LOG)を参照してください。

確認を終えたら メニューから を選択し [メモ帳] を終了してください。



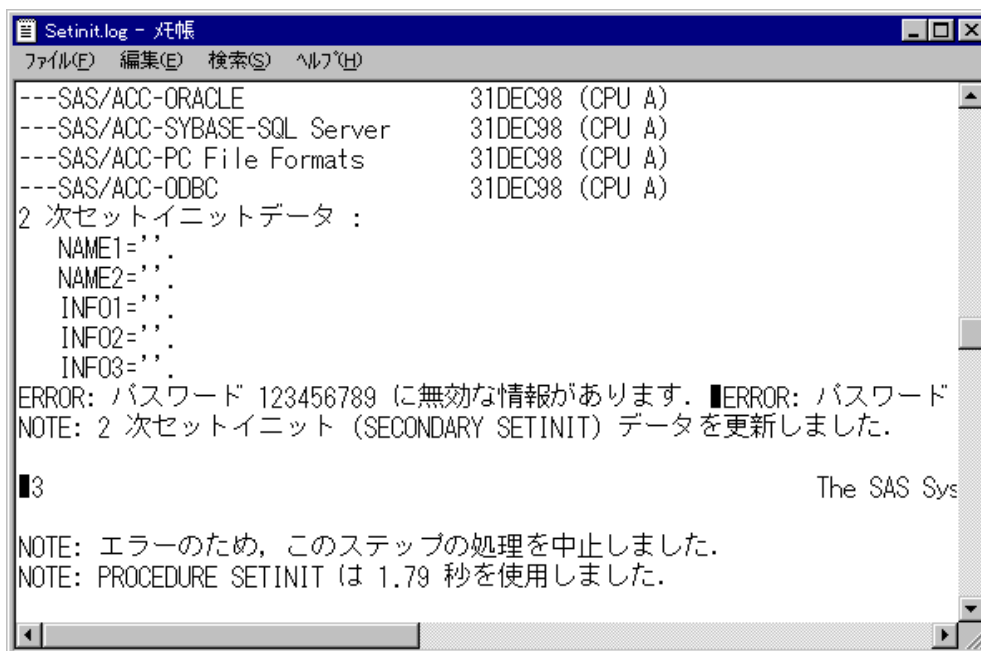
更新に失敗している原因のほとんどは**SETINIT.SASファイル中のタイプミス**です。今一度、お客様のライセンス情報を参照してSETINIT.SASファイルの内容をご確認ください。

タイプミスの例

- (1) 「NAME=」の項目で(,),(.),(-),スペースが足りない。
- (2) 引用符がぬけている。
- (3) 文末のセミコロンがぬけている。

なお、SETINIT.LOGファイル中に「**ERROR: パスワード xxxxxxxx に無効な情報があります。**」と表示されている場合であっても、PASSWORD=以外の個所のタイプミスがエラーの原因であることがあります。この場合には、SETINIT.SASファイルのいずれかの個所にタイプミスが存在しますので、再度、SETINIT.SASファイルの内容をご確認ください。

図C-8: SETINIT.LOGファイルの参照



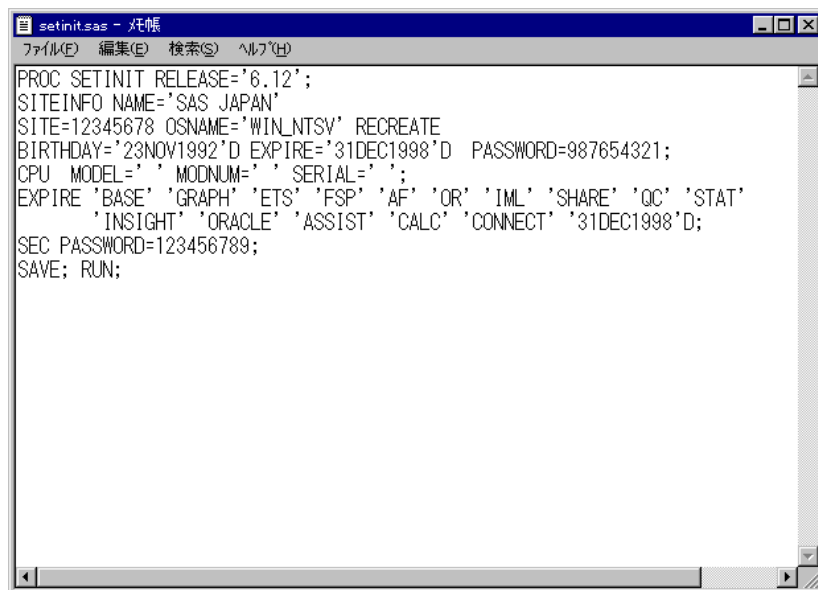
9. 「セットイニットファイル(setinit.sas)を編集しますか？」
続いて次のウィンドウが表示されます。 をクリックしてください。

図C-9: 「セットイニットファイルを編集しますか」



10. SETINIT.SASファイルの修正
[メモ帳]でエラー個所を修正し、 メニューから を選択してSETINIT.SASファイルを保存します。最後に メニューから を選択し [メモ帳] を終了します。

図C-10: SETINIT.SASファイルの修正



```
setinit.sas - 状態
ファイル(F) 編集(E) 検索(S) ヘルプ(H)
PROC SETINIT RELEASE='6.12';
SITEINFO NAME='SAS JAPAN'
SITE=12345678 OSNAME='WINLNTSV' RECREATE
BIRTHDAY='23NOV1992'D EXPIRE='31DEC1998'D PASSWORD=987654321;
CPU MODEL=' ' MODNUM=' ' SERIAL=' ';
EXPIRE 'BASE' 'GRAPH' 'ETS' 'FSP' 'AF' 'OR' 'IML' 'SHARE' 'QC' 'STAT'
'INSIGHT' 'ORACLE' 'ASSIST' 'CALC' 'CONNECT' '31DEC1998'D;
SEC PASSWORD=123456789;
SAVE; RUN;
```

この後、図C-6のウィンドウが表示されれば、ライセンス情報の適用は完了です。

図C-7のウィンドウが表示された場合は、[7. 「エラーが発生しました」] (31ページ)に戻ってください。

エラー箇所が不明な場合はSASシステムをインストールしたディレクトリに作られるSETINIT.LOGファイルを添えてFAXまたは電子メールにてテクニカルサポートにお問い合わせください。

C.3.3 ライセンス情報の適用(コマンド入力による方法)

本節では、コマンド入力によるライセンス情報の適用方法を説明します。

1. コマンド入力によるライセンス情報の適用

Windows 95, Windows NT 4.0のタスクバーから、**ファイル名を指定して実行** を選択し、次のようにコマンドを入力してください。

```
<SASROOT>%SAS <PATH>%SETINIT.SAS -SETINIT
```

ここで、<SASROOT> は、SASシステムがインストールされているディレクトリを指します。

<PATH> は、SETINIT.SASファイルが存在するディレクトリを指します。

(例) SASシステムをC:%SAS612にインストールし、SETINIT.SASファイルがA:%

に存在する場合。

C:¥SAS612¥SAS A:¥SETINIT.SAS -SETINIT

2. ログファイルの確認

ライセンス情報を適用した実行結果が<SASROOT>ディレクトリ下のSETINIT.LOGファイルに出力されます。

ERROR:で始まるメッセージがなく、ファイルの最終行付近に次のメッセージがあればライセンス情報の更新は完了です。

NOTE: サイト情報データを更新しました.

NOTE: 2次セットユニット(SECONDARY SETINIT)データを更新しました.

更新に失敗している原因のほとんどはSETINIT.SASファイル中のタイプミスです。今一度、お客様のライセンス情報を参照してSETINIT.SASファイルの内容をご確認ください。

タイプミスの例

- (1) 「NAME=」の項目で(,),(-),スペースが足りない。
- (2) 引用符がぬけている。
- (3) 文末のセミコロンがぬけている。

なお、SETINIT.LOGファイル中に「**ERROR: パスワード xxxxxxxxx に無効な情報があります.**」と表示されている場合であっても、PASSWORD=以外の個所のタイプミスがエラーの原因であることがあります。この場合には、SETINIT.SASファイルのいずれかの個所にタイプミスが存在しますので、再度、SETINIT.SASファイルの内容をご確認ください。

エラー個所が不明な場合はSASシステムをインストールしたディレクトリに作られるSETINIT.LOGファイルを添えてFAXまたは電子メールにてテクニカルサポートにお問い合わせください。

Enterprise Minerソフトウェア バージョン2.02インストールガイド

1999年2月1日 初版第1刷発行

発行元 株式会社SASインスティテュートジャパン
〒104-0054 東京都中央区勝どき1-13-1
電話 03(3533)3860

本書の内容に関する技術的なお問い合わせは下記までお願い致します。

SASテクニカルサポート

TEL : 03 (3533) 3877

FAX : 03 (3533) 3781